

【第4号議案】2024（令和6）年度事業計画の件

2024年度事業計画

・国際会議開催事業

2024年は、12月4日から6日の3日間、これまでと同様に一般社団法人映像情報メディア学会（ITE）と The Society for Information Display（SID）の主催で、札幌コンベンションセンターにて第31回ディスプレイ国際ワークショップ（IDW'24）を、昨年に引き続き現地開催のみで行う。組織委員長は鬼島靖典様（華為技術日本株式会社）、実行委員長は森裕行様（AGC株式会社）、プログラム委員長は山本裕紹先生（宇都宮大学）である。国際会議の目的・趣旨・開催の形態は、おおよそこれまでのものを踏襲し、これまでと同様な成功を収めることを目指す。また、Scope制を継続する。研究・開発・産業の動向にしたがい、Topical Session（TS）や Special Topics of Interest（STI）を積極的に活用する。2024年度は、現地開催をできるだけ盛り上げるために、体感が出来る I-DEMO セッションに加え、若手研究者／技術者育成の観点から新たに高等専門学校生によるデモコンテストを企画中である。展示は継続し、論文数増、参加者数増、展示件数増による収入増を目指す。2024年度も新たな取り組みによる支出増を想定して予備費を予算化する。

・記念事業その他

2019年から導入した表彰制度“Kobayashi-Uchiike-Mikoshiha Prize”を継続する。

中長期計画

・国際会議開催事業

IDWは、現状の分野を維持するとともに、新たな分野を取り込みながら、規模を維持または拡大していく方針である。IDW'23から取り組んだイメージングを継続し、ディスプレイ技術を中心にイメージング技術を加えた研究・開発・産業に大きく貢献する内容を構成する。IDWは、さらなる参加者数や論文数の増加を目指して新たな中長期戦略を策定するとともに、IDW'25、'26に向けて具体化していく。

以上